



かまくら 世界映画週間 《韓国篇》



2021年
9月7日(火)~12日(日)



世界各地の映画を通して、その土地の社会や文化に対する理解を深めていただく【かまくら世界映画週間】。今回は、近年ますます世界から注目を集める韓国映画をご紹介します。数々の映画祭で受賞を重ねる巨匠の代表作や高い評価を得た女性監督のデビュー作など、是非お勧めしたい3作品を上映します。

はちどり



9月7日(火)、10日(金) 10:30
8日(水) 14:00、11日(土) **13:30** ※特別上映

2018年/韓国=アメリカ/カラー/138分/DCP
監督:キム・ボラ
出演:パク・ジフ、キム・セビョク、イ・スンヨン、チョン・インギ、パク・スヨン

1994年のソウル。集合団地に暮らす14歳のウニは、家庭や学校での毎日に疎外感を抱いていたが、漢文塾の先生との出会いを通して、初めて自分を気にかけてくれる大人を知る…。その瑞々しく繊細な表現力が高く評価され世界各地の映画祭で受賞、コロナ禍の日本でも大ヒットを遂げた。

9月11日(土)13時30分の回終了後
【トークイベント】
韓国の家族・社会・歴史から紐解く
“女”と“男”の生きづらさ

ゲスト: 崔 盛旭さん(映画研究者)

『はちどり』は一見平凡な少女の成長物語のようですが、実はその小さな世界観の中に、韓国社会のひずみやその時代特有の空気が浮かび上がる作りを持っています。“ジェンダー”が社会的関心を集める昨今、トークイベントでは韓国における男尊女卑の思想と“女性”と“男性”の生きづらさについて、映画と照らし合わせながら語っていただきます。

特別上映
料金 : 一般 1600円/小・中学生 800円

パラサイト 半地下の家族



9日(木)、11日(土)、12日(日) 10:30
7日(火)、10日(金) 14:00

2019年/韓国/カラー/132分/DCP
監督:ポン・ジュノ
出演:ソン・ガンホ、イ・ソンギユン、チョ・ヨジョン、チェ・ウシク、パク・ソダム、イ・ジョンウン

カンヌ映画祭最高賞、アカデミー賞主要4部門受賞と韓国映画界に歴史的快挙をもたらした一作。社会の問題意識をあぶり出す時代性とエンターテインメント性で高く評価されるポン・ジュノ監督が、“半地下”に暮らす一家を中心に、富裕家族とそこに隠された秘密をスリリングに描く。

オアシス



8日(水) 10:30
9日(木)、12日(日) 14:00

2002年/韓国/カラー/133分/DCP
監督:イ・チャンドン
出演:ソル・ギョング、ムン・ソリ、アン・ネサン、チュ・グイジョン、リュ・スンワン

教師、小説家を経て映画作家となり、近年はプロデューサーとして後進の育成にも励むイ・チャンドン監督の代表作のひとつ。出所したばかりの男と脳性麻痺を抱えた女、家族と社会から疎外された2人の純愛を描いた衝撃作。障がいをもつ役を体当たりで演じたムン・ソリはとりわけ高く評価された。

上映スケジュール	10:30	14:00
7日(火)	①	②
8日(水)	③	①
9日(木)	②	③
10日(金)	①	②
11日(土)	②	13:30 ①
12日(日)	②	③

特別企画料金(展示観覧料含む): 一般 1200円/小・中学生 600円 チケット発売開始日:8月21日(土)

鎌倉市川喜多映画記念館